

病院改修工事のお知らせ

当院では、患者さんが快適で使いやすい環境の整備を目指し、下記のとおり改修工事を実施いたします。

来院の皆様や入院患者さんへの支障を最小限に抑えるよう細心の注意を持って施工いたしますが、工事期間中は、どうしても振動や騒音が発生する場合があります。

また、工事箇所によっては、通行や立ち入りの制限を行う場合もございます。

ご不便・ご迷惑をかけ誠に申し訳ありませんが、ご協力をお願い致します。

- 1 工事期間：令和6年3月11日～令和7年3月31日（予定）
- 2 主な工事内容
 - ・ 病棟のリニューアル
 - ・ 外来トイレ等のリニューアル
 - ・ エレベーターの更新
- 3 作業時間：平日午前8時30分～午後5時
（エレベーターの工事にあたっては、一部午後5時以降の工事もあります。）

県立北薩病院 院長 田中 修也

★ アクセス ★



鹿児島県立北薩病院

〒895-2526

鹿児島県伊佐市大口宮人502-4

TEL：0995-22-8511

FAX：0995-22-6785

0995-22-9397(地域医療連携室)

Mail：hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※ 受診について、小児科以外は原則予約制となっています。待ち時間短縮のため、電話での予約をお願いします。

○電話予約：午後2～5時まで



さざんか

～県立北薩病院だより～

3月号
No.215



お知らせ



令和6年4月1日から内科（総合診療科）の外来受診が**完全予約制**となります。

令和6年4月1日以降に内科（総合診療科）の受診を希望される方は、**必ず予約が必要となります**。事前に予約された上でご来院いただきますよう、お願いします。

※ **完全予約制** ※
予約をされた方のみ診療を行う体制

呼吸器内科，循環器内科，脳神経内科，小児科の外来診療体制は，これまでと変更ございません。



予約をされる場合は、平日（祝日・年末年始除く）の**午後2時～午後5時**に病院代表電話（0995-22-8511）までお電話ください。

県立北薩病院長



さざんかでは院内の各部署や働いている職種の紹介をしています。
第5回は「臨床検査技師」についてご紹介します。



○ 臨床検査技師とは

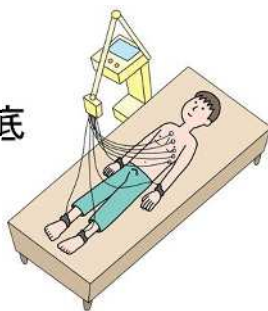
臨床検査技師とは、病院や診療所などの医療機関で、医師あるいは歯科医師の指示のもとに、各種の臨床検査を行う専門の技術者です。患者さんの身体の状態や病気の原因、重症度や緊急性、治療効果などを評価するために、身体や臓器の「働き」を調べる検査を行っていきます。

○ 臨床検査について

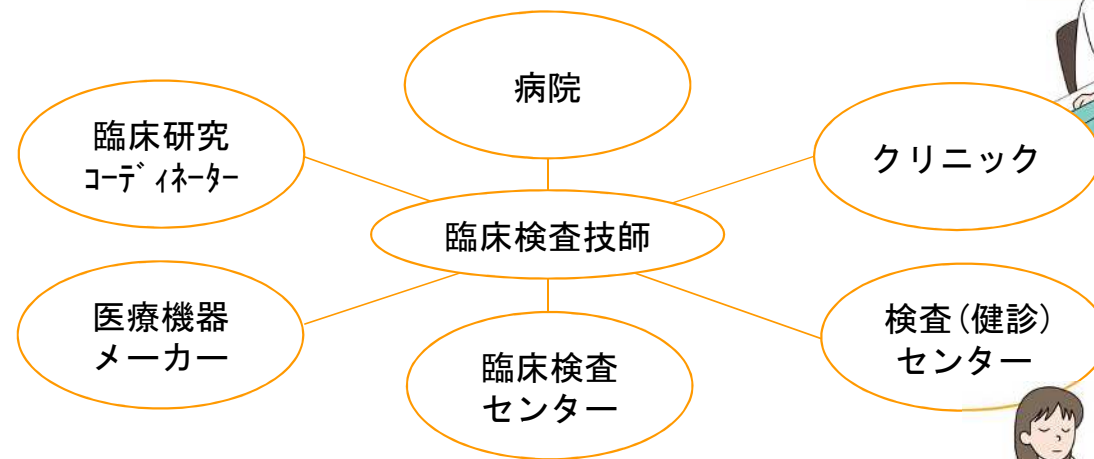
生体検査

患者さんの体から直接、情報を記録・収集して体の状態を調べます。

- 超音波検査
超音波を用いて、体内の組織を画像化し、異常の有無を判断する検査です。あらゆる臓器の観察に用いられ、胎児スクリーニング検査にも有用です。
- 心電図（循環器系）検査
心臓や血管など全身の血液循環に関する状態を調べる検査です。安静心電図だけでなく、負荷心電図、24時間ホルター心電図、ABI検査などがあります。
- 脳波検査
脳が出し続けている微弱な電気信号を記録する検査です。てんかん発作が疑われる場合や、睡眠時無呼吸症候群の重症度判定や脳死判定の際にも利用されています。
- 呼吸機能検査
息切れ・呼吸が苦しいなどの症状がある際に、肺や気管支の状態を調べるために行われる検査です。病気の診断・重症度を調べる場合や、治療効果を見るときにも行われます。
- 眼底写真検査
瞳孔の奥にある眼底を観察することで、網膜剥離、眼底出血、緑内障などの病気の診断に役立ちます。
- 味覚・聴覚検査／聴力検査／熱画像検査



○ こんなところで働いています



検体検査

患者さんの体から採取した検体（血液、尿、痰、組織、細胞など）を用いて、体の状態を調べます。

- 微生物学的検査
便、尿、膿、痰などを培養し、感染症の原因となる微生物の特定や、効果のある薬は何かを調べることができます。
- 血液学的検査
血液中の成分の数や形を調べることで、様々な血液の病気（貧血や白血病など）を見つけることができます。また、血液をサラサラにするお薬の効果も見ることができます。
- 免疫血清学的検査
免疫に関係する病気（肝炎ウイルス、梅毒、関節リウマチ、膠原病など）の診断に欠かせない検査です。癌の存在や治療効果を見る腫瘍マーカーの検査も含まれます。
- 生化学的検査
血液中の酵素、脂質、糖質、無機質、ホルモンなどの値を測定することで、肝機能・腎機能・脂質・糖尿病・甲状腺などに異常がないか調べることができます。
- 病理・細胞診検査
病理組織検査では、患者さんの体から採取した臓器・組織から標本作製し、病理医が顕微鏡で観察し、がんや炎症などの状態を診断します。細胞診検査では尿・痰・子宮頸部・気管支・乳腺・甲状腺などから採取された細胞で標本作製し、悪性細胞の有無を調べます。
- 一般検査／輸血・造血幹細胞・移植関連検査／遺伝子・染色体検査